

## 「ピースくまもと」設立準備会事務局会 協議資料

～熊本に戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと」「くまもと平和祈念館」設立に向けて～  
 ※「戦争と平和の資料館 ピースあいち」開館10周年記念誌『希望を編みあわせる』「第四章 資料・年表」が基礎資料。

※7/23部会協議内容を、永田・三隅・高谷が修正し作成。9/20部会協議で更に修正

### 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立の基本構想（案）」

熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会 ○○年○月

#### 1 設立の趣旨 ※趣意書9/28案の一部を記載

2020年8月、アジア・太平洋戦争が終ってから、平和なときが75年続きました。

今や戦争は遠いものとなり、日本の社会全体が過去の戦争のことを忘れ去ろうとしています。戦争体験者は国民の2割をきり、ご遺族の方々も高齢化しており、平和な社会と繁栄の時代への出発点となったさきの大戦の記憶が薄れつつあります。

わが国は国策としてアジア・太平洋の各地に戦線を拡大し、熊本では第六師団を中心に中国大陸やフィリピン・南方の島々で戦い、数万ともいわれる将兵の遺骨が今も眠っています。そのことにより、多くの国々に多大な迷惑もかけました。更には、県下各地は度重なる空襲で甚大な被害を受け、多くの命が失われました。この戦争の実相と愚かさ、戦争が残した計り知れない教訓を、次の世代の子どもたちに伝えることは、いまに生きる私たちの責務であると思います。それは、戦争で亡くなった方々への鎮魂であるとともに、再び日本国を国外で戦争する国にしないように、また私たちが戦争の惨禍を引き起こさないようにし、次の時代に向け平和の礎を築くことでもあります。

いま全国各地で、戦争に関する資料の収集・保存・展示と平和研究のための施設が開設され、市民活動としての新たな平和活動が進んでいます。愛知県にはNPO法人が設立した「ピースあいち」と公設資料館である「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」が連携し、平和希求の活動を広げています。岡山市では「岡山空襲展示室」が、市民グループの活動を基に貴重な空襲資料の展示・啓発活動を行い、北九州市では新たに市民の戦争体験や当時の暮らしを物語る資料などを保存・継承していく施設として「(仮称) 平和資料館」の建設が進められています。

熊本は、明治十年の西南戦争を経験し、そこから生まれた博愛社はその後の「日本赤十字社」の創設に関わった平和活動発祥の地です。県内では戦争に関する資料が多く残され、その収集や戦争体験の伝承活動もなされています。市民グループによる「菊池飛行場ミュージアム」や「荒尾二造平和資料館」が相次いで設立され、錦町では「人吉海軍航空基地資料館」が開館しました。

今、県都熊本市に、戦争体験を次の世代に伝え、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて学ぶ常設の施設設立が強く望まれます。

そこで私たちは、「くまもと戦争と平和ミュージアム(仮称)」設立を県民、熊本市民の方々に呼びかけます。そして熊本県、熊本市には、その設立にむけて支援をお願いします。

いま国連が提唱するSDGsの16項目「平和と公正をすべての人に」に示す、世界の平和に向けて、持続可能な社会の実現を進め、熊本市内に「戦争と平和のミュージアム」設立を呼びかけます。県・市をはじめ政府はもとより政・財・官・学・民にこぞって、ご賛同をもとに熊本の未来平和のための礎を築きたいと願ってやみません。

#### 2 施設の目的と機能—目指す三つの姿

上記のような趣旨のもとに設立される施設は、

~~第一に、戦争と平和に関する歴史的資料の収集と保存の場として、~~

~~第二に、県民・市民が戦争の事実と平和について学習をし、平和を希求する思索と行動の発信の場として、~~

~~第三に、平和に関する国際交流、情報の収集と発信、市民・諸団体の交流の場として、~~

~~第四に、戦争と平和に関する調査・研究の場として、~~

~~第五に、戦争犠牲者に対する追悼・祈念の場として、十分に機能するものであることが望まれます。~~

熊本に設立する戦争と平和のミュージアムが目指す姿は次の3項目です。

- (1) 熊本空襲を調査・記録し、保存し、未来に継承する場とする！
- (2) 熊本の戦争の歴史とその遺産に学び、戦争犠牲者に対する追悼・祈念の場とする！
- (3) 次の世代が、命の尊さ、平和の大切さを学び、ヒトに伝える場とする！

### 3 施設の特徴と性格

上記の機能を果たす**目指す姿を実現させる**ために、**熊本市内に建設設立**される施設は次のような特徴と性格を持つものが望ましいと思われ**ます**考え**ます**。

#### ※以下、6項目は見直し予定

##### (1) 平和のシンボル性次世代の子ども達へ

平和を希求する県民の学習の場、集いの場、シンボリック施設になるようなものが望まれます。そのためには、県民・市民とくに小・中・高生が利用しやすい交通の至便の場所に建設され、建物や展示構成にも小中学生から戦争体験者まで幅広い年齢層の要求に応えるような工夫が必要であります。豊富な資料や物によって戦争の事実を生々しく語らせるとともに、視聴覚に訴える**デジタル技術を活用した**展示方法によって、分かりやすく興味あるものにすることが大切です。「~~ピースおおきか~~」のように、学校教育、家庭教育、県・市町村の職員の研修、生涯教育の場として多くの人に利用され、県民・市民が「平和を考えるのによい場所をつくってくれた」と思えるようなものを**目指すべき**であります。

また、~~展示されるものはどうしても暗いものになりますから、建物はデザインの美しい明るいイメージのものにし、植え木や花壇のある中庭を配置するなど利用者が休憩したり、談話したりする空間があることが望まれます。~~世代間の対話が困難な時代ですから、大人と子供、老人と子供など異なった世代が戦争と平和を語る場になるよう工夫が必要と思います。また、多目的ホールを併設して、**講演、演劇、音楽**などを通じて**平和の尊さを感性に呼びかける催し**なども**活動**ができるとよいと思います。そして県民・市民が何らかの形で運営に参加・協力できるものによって、施設は**いっそう身近な存在**になることが期待されます。

##### (2) 歴史的な客観性と総合性

十五年戦争(アジア・太平洋戦争)については、~~戦争に関する~~資料は、収集においても展示においても、常に客観性と総合性が求められるべきであります。この種の施設は、戦争の被害の側面、加害の側面のいずれを重視するのかという議論がなされることがありますが、戦争は決して一面のみをことさら強調すべきではなく、**熊本**県に建設される**施設**においては、「戦争の事実を正確に伝えること」を最大の目的とし、客観的かつ総合的なものでなければならぬと思います。そのためには、現代の日本における学問的に最高レベルの研究者の協力を求めて、その指導のもとに計画を進めることが肝要であると考えます。

また、戦争を庶民の側からとらえ、普通の国民にとって戦争とは何であったのかということにも重点をおいた構成が良いと思います。戦前・戦中における軍国主義の国家体制のもとで、国民・県民がどのような生活を強いられたのかをいろいろな角度から取り上げる構成が望ましいと考えます。

##### (3) 熊本の特殊性

熊本に建設される施設として、地域の特性を十分表現したものであることが望まれます。熊本県は、西南戦争の激戦地であり、政府の本陣営が設置された場所であることや九州の中心地であることから、早くから軍の主要設備が設置され軍都として繁栄した歴史があります。一方で、西南戦争においては、敵味方区別なく博愛の精神で自発的に救護を行った日本赤十字の発祥の地という**特殊性**もあります。私たちの熊本が二度と戦争体制を支える地域にならないようにするためにも、また、**平和活動発祥の思いを継承**するためにも、このような**熊本の特殊性**が十分表現されることが望まれます。

##### (4) 国際性平和と公正をすべての人に

これから建設される施設は、**SDGs**に掲げてある通り、**持続的に平和と公正をすべてのひとに与える**べく国際性を持つものであることが要請されています。施設の究極のテーマは平和な国際社会を築くことであり、また**熊本**県は今後国際的にも発展する地域でありますから、建設される施設は普遍的かつ**公平**で国際的な視点を有するものでなければ

ばならないと思います。この施設は、**熊本**県民が過去の戦争をどのように歴史に残そうとしているのかを国際社会に示すものでありますから、その内容は国際的に通用するものでなければならず、また現在国際社会が抱えている、飢餓と貧困、差別、人権抑圧、環境破壊など広い意味での平和の課題に対しても目を向けたものであることが望まれます。他国の若者と日本の若者が共に考え、コミュニケーションを培う場として利用されることが望ましいと思われま

#### (5) 調査・研究性、情報センター性

平和のための研究機関として、将来、成長発展していく施設であることが望ましいと思います。単なる戦争博物館では若者の関心をひくものにならないのではなく、戦争と平和をテーマに過去・現代・未来を結び付ける内容をもった施設(参考、シンガポール国立博物館)にすることが必要です。そのためには第一級の研究者を委嘱又は客員研究員として迎え、そのもとに若い研究者を育て、広い情報収集能力、情報発信能力をもった平和科学研究センターとして発展していくものになれば、全国でも有数の特徴ある施設になると思われま

#### (6) 犠牲者追悼と平和祈念

戦争犠牲者への追悼や平和を祈念する性格のものであることが求められます。戦争の事実を正しく後世に伝えることは戦争犠牲者に対する最大の鎮魂であります。さらに施設の中に戦争犠牲者への追悼と平和祈念のための場を設けることができれば、いっそう良いと思われま

### 4 施設の機能と建物計画

施設の機能を十分果たすために必要と思われる建物計画は次のとおりです。ただし、最初からすべてを完備することができない場合は、将来完備できるよう当初から全体計画の中に組み込まれていることが望ましいと思われま

#### (1) 建物整備・各室等

収蔵室・整理作業室	展示室(常設展示、企画展示)	・展示準備室
映像収録室	図書室	資料室・書庫
研究室	研修室	映像鑑賞室
会議室		ホール(多目的)
ミュージアムショップ		<b>休憩室</b>
広場・ロビー	談話室	駐車場
事務室	管理業務諸室	慰霊碑・モニュメント
追悼広場・瞑想空間		

#### (2) 施設の機能

収集・保管機能	展示機能	研究機能
学習・啓発機能		
交流機能	事務・運営機能	追悼機能

### 5 展示構成

施設の設立趣旨にもとづいて展示の構成を考えると、大きく「愛知における戦争」「十五年戦争(アジア・太平洋戦争)の事実と様相」「国際平和と現代」「**熊本の戦争前史、熊本空襲、熊本の戦争の歴史をたどる、昭和の戦争時代、戦後の熊本・平和社会の実現**」というような五つの項目に分けられます。それらのジャンルに分類される展示の項目を列挙すると以下のようなものになると考えま

#### I 熊本の戦争前史 ※項目・内容検討中

西南戦争、博愛社(日本赤十字の前身)の発祥、軍都熊本の成立、戦前の世界情勢、日本の国家体制と戦争への過程、アジア太平洋地域での戦争の推移(戦史)／日本の加

書行為の実態、占領地支配、抗日運動／日本における戦争被害の実態／広島・長崎への原爆投下、沖縄戦／戦時の国家体制(経済・産業体制、法体制、軍事体制、地域体制、情報・報道状況、人権状況)／戦時の国民生活/軍隊生活と戦場での兵士の犠牲反戦運動/戦争終結と戦後処理

## II 熊本空襲 ※項目・内容検討中

愛知熊本における空襲の概要、科学技術の先進性と軍需産業、軍部隊・軍施設、朝鮮人連行、学従動員、学童疎開、軍国教育、反戦運動

## III 熊本の戦争の歴史をたどる ～熊本に残された戦争の傷跡「七大特徴」～

- ①軍都熊本市の軍事施設 ～熊本城から東部の大江・渡鹿地区への軍施設の移転～  
○熊本城地区 ○大江渡鹿地区 ○清水地区
- ②九州で三番目に多い陸海軍飛行場 ～本土決戦に向け、地下にもぐった飛行場施設～  
○県内戦争遺産の概要、飛行場・航空機産業  
○宮地飛行場 ○菊池飛行場 ○熊本飛行場 ○黒石原飛行場 ○玉名飛行場  
○隈庄飛行場 ○八代飛行場 ○人吉飛行場 ○天草飛行場  
○秘匿飛行場5箇所(山鹿・植木・大津・北熊本・陸軍人吉)
- ③東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所 ～軍直営で石炭を原料とした黄色火薬の生産～
- ④三菱重工業熊本航空機製作所と学校・地下工場～陸軍四式重爆撃機「飛龍」の生産～
- ⑤本土決戦の天草地区砲台、震洋等の特攻艇基地と人吉地区地下工場・地下壕群  
○天草地区の概要 ○海軍砲台3箇所 ○海軍震洋基地 ○陸軍マルレ艇基地  
○人吉地区地下工場・地下壕群 ○第二十二海軍航空廠人吉分工場球磨郡錦町地下壕  
○佐世保鎮守府軍需部施設球磨郡錦町地下壕
- ⑥県内各地に残る空襲・戦災の「被害の歴史」
- ⑦朝鮮人や中国人、連合軍俘虜労働の「加害の歴史」  
○朝鮮人・中国人の「強制連行」 ○連合軍俘虜労働 ○福岡俘虜収容所第一分所(熊本捕虜収容所) ○福岡俘虜収容所第六派遣所(田の浦捕虜収容所)

## IV 昭和の戦争時代(満州事変～アジア・太平洋戦争終結)

- ①軍国少年少女の育成  
○教科書・指導書 ○学校教材(掛図・高射砲模型教材など)・校内掲示用ポスター  
○国民学校アルバム ○絵本 ○子供用雑誌 ○夏休みの友 ○紙芝居(「動物大会」米英相手に戦争を勝たせよう) ○戦争ごっこ玩具(竹製機関銃・軍刀・背囊・紙製兜・勲章) ○玩具(空襲ゲーム・隣組ゲーム・スパイゲーム・カルタ・双六など)  
○小中学生の慰問文・慰問画 ○受験雑誌(少年航空兵・戦車兵) ○小中学生のポスター・習字 ○戦時色濃い子供茶碗 ○少国民手帳
- ②徴兵制度 兵隊と戦争  
○徴兵心得 ○日の丸寄書き ○軍人手帳 ○軍人勅諭 ○千人針 ○武運長久お守り・防護板 ○認識票 ○祝電報 ○祝幟旗 ○皇軍必携実用支那語 ○軍票 ○賞状  
○勲章 ○軍事郵便 ○皇軍慰問箱 ○軍隊生活日記 ○陸軍幹部候補生反省録 ○慰問袋・奉公袋 ○飛行服・防寒(服・手袋・飯盒入れ) ○従軍写真帖 ○入営・除隊・凱旋記念品の盃や盆類 ○傷痕軍人関連品 ○遺書 ○戦死報告・死亡通知書  
○靖国参拝関連品
- ③銃後の女性の役割  
○愛国婦人会・大日本国防婦人会・大日本婦人会女性団体の布製旗 ○婦人雑誌(主婦の友・婦人倶楽部等) 戦争協力 ○愛国婦人会の紫たすき・大日本国防婦人会の白たすき ○大日本国防婦人会記念写真帳 ○出征兵士への「感謝」布製 立てよ進めよますらおよ---あと憂いなく進まれよ(大日本国防婦人会関西支部)
- ④メディアの役割  
○子供新聞(少国民新聞・大毎小学生新聞) ○朝日新聞・毎日新聞・読売報知新聞・新愛知・写真特報(同盟通信社)など
- ⑤政府・軍の世論操作(防空・防諜対策・転業の勧め)  
○国策宣伝紙の写真週報・週報 大政翼賛会・隣組
- ⑥戦争資金調達(国民に貯蓄・国債購入奨励)  
○貯金・国債・年金・徴兵保険の広告パンフレットや広告ポスター・看板 ○支那事変国債売出しポスター ○大東亜戦争報国貯金通帳 ○可愛い坊やに徴兵保険  
○戦争保険をつけましょう
- ⑦昭和戦争時代の地図・掛図  
○大東亜戦果学習絵図 ○満蒙大地図 ○大東亜共栄圏地図 ○ソロモン群島・珊瑚海精密図 ○南方共栄圏要図 ○太平洋全島精図

## ⑧日本植民地時代の朝鮮・台湾と傀儡国家の満州国

○満州国国旗 ○南満州鉄道株式会社木製看板 ○満蒙開拓青少年義勇軍志願者願書  
○台湾総督府銘入り看板 ○朝鮮総督府銘入り看板 ○朝鮮総督府検査済米袋 ○日本統治時代の紙幣・株券 ○朝鮮統治下時代の日本語教育書（朝鮮人指導者の日本人と日本語を習う朝鮮人対象）○朝鮮同胞男子戸籍及び寄留一斉調査（司法省）の知らせ ○昭和19年度から朝鮮徴兵制度施行

## ⑨戦争時代の人々の暮らし

○隣組回覧板 ○盆・茶碗・湯呑 ○代用陶器製品（釜・湯たんぽ・電気製品ソケット・洋服かけ・キセル） ○煙草の定価表 ○衣類・着物・ハギレ ○衣料切符  
○団扇・扇子 ○防空頭巾・モンペ ○防火用砂袋 ○防毒マスク ○国防カバー  
○カレンダー ○手回し式空襲警報器 ○時局防空必携本 ○灯火管制心得ポスター  
○簡単にできる防空頭巾 ○スパイに気をつけようの警察署発行チラシ  
○愛国貯金箱

## ⑩ブーゲンブル島、フィリピン、中国大陸での戦い

○ブーゲンブル・ソロモン諸島遺品等  
○フィリピン遺品等  
○中国大陸遺品等

## V 戦後の熊本、平和社会の実現、未来に向けて ※項目・内容検討中

第二次大戦後の戦争／冷戦と核軍拡競争／軍縮の努力／冷戦終結後の戦争／国際社会と日本、国連の役割／貧困、飢餓、差別、人権抑圧、環境破壊の克服への国際協力／平和連動と非暴力思想／平和のための国際連帯／熊本県における平和への課題（平和教育・戦争を語りつぐ実践など）

## 6 施設の全体規模

以上のような施設を建設するためには、相当広い敷地と建物が必要になり、建設費も多額になると思われます。また子どもから老人世代まで利用しやすいように、~~地下鉄駅から公共交通機関か、徒歩で行けるところが望ましく、県市の施設の多い東山公園、名古屋城・名城公園周辺、白川公園周辺、鶴舞公園周辺などがとくに望ましい場所ではないか~~と思われます。

参考までに、これまでに建設された代表的な施設の全体規模を下段にまとめました。この施設はいわば20世紀と21世紀をつなぐシンボリックな施設となるものであり、~~世代をつなぎ、国をつなぐものでもあります。また戦争と平和をテーマに愛知熊本では初めて建設される施設であり、県民のみならず中部圏の多くの人々に利用される施設でありますから、ぜひ、他の地域に恥じない高いレベルのものが建設されるよう望まれます。~~

### [例の提示]

#### (1) 自主建設例

「ピースあいち」 愛知県名古屋市名東区よもぎ台

建物面積：3483㎡・RC造・地上3階 展示室面積：○㎡  
敷地面積：2513㎡ 建設費 8億円 駐車場：3台

「(仮称)平和祈念館」 福岡県北九州市小倉北区城内4番（国有地）

建物延面積：900㎡・RC造・地上1階 展示室面積：800㎡  
敷地面積：2200㎡ 建設費 8億円 駐車場：勝山公園駐車場利用

#### (2) 複合施設内設置例

「岡山空襲展示室館」 岡山県岡山市北区元町15-1 岡山シティミュージアム  
5階：入場は無料 展示室面積：○㎡ ビル全体敷地面積：○㎡  
建設費 ○円

「大村近現代展示室」 長崎県大村市本町458-2 プラットおおむら5階  
入場は無料 展示室面積：○㎡ ビル全体敷地面積：○㎡  
建設費 ○円